

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	橋りょう震災対策事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	安全 災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'02	2 被害を最小限に抑える防災の環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者			事業期間
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
震災時における落橋が防止されています。		地震による落橋を防止するため、落橋防止対策工事を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	橋りょう耐震補強進捗率			単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの指数累計に対する当該年度までの指数累計の率。現況調査10、下部工40、上部工40、落橋工事10				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	39	68	77	91	
	実績	50	53	63		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：若干遅れている					
	遅れている理由	小川跨線橋のJRとの設計協議が遅延しているため。				
平成26年度の主な取組と成果						
平塚大橋、東橋、小嶺橋の耐震補強設計を行いました。						
平成26年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	震災等による落橋防止対策は、橋りょうの安全確保のため必要性は高いと考えます。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	市民の安心、安全のまちづくりの点から、有効性は高いと考えます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	安全で快適な生活環境の確保のため、道路管理者として必要な事業であり、妥当性は高いと考えます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	耐震補強工事のコスト削減に取り組みます。	高中低
今後に向けた課題の分析 東橋の耐震対策を進めながら、その他の耐震補強が必要な橋りょうの整備をする必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		城所架道橋下部工補修 工事、落橋防止工事	落橋防止工事	耐震補強工事等	耐震補強工事等
財源内訳	国庫支出金	24,750	0	6,050	18,150
	県支出金	0	0	0	0
	起債	48,000	7,000	3,000	13,300
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	14,574	12,824	3,550	1,550
事業費 (A)		87,324	19,824	12,600	33,000
執行率 (%)		98.83	94.40	24.23	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 地震による落橋を防止するため、設計委託や補強工事を行います。
課長コメント 落橋による市民生活への影響が甚大なことから、橋りょう耐震計画を策定し、計画的に事業を進めます。